

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 杏園会)
 事業所名 (介護老人保健施設かなやま)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 7 月 18 日	10	平成 29 年 7 月 18 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成 29 年 6 月 23 日 Wi-Fi 環境の整備。平成 29 年 7 月 3 日眠り SCAN 設置。平成 29 年 7 月 18 日運用開始。

- ① 利用者様の睡眠リズムを把握することにより、転倒・転落を 10%削減する。
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
- ③ 夜勤職員のストレス及び業務量軽減

上記を目標とし運用を開始した。

使用対象者：当機器を使用する事により睡眠状況の改善、事故防止に繋がると考えられる方に常時変更し使用している。

- ・ 認知症を含む疾患により転倒・転落のリスクの高い方
- ・ 夜間の尿失禁改善が必要な方
- ・ 看取りケアが必要となった方
- ・ 在宅復帰に向けて夜間状況の確認が必要となった方

運用 (注) 介護ロボット毎に作成すること。

開始後、Report のデータから適切なケアの提供の為、フロアごとに検証している。

【介護ロボットの導入効果】

目標に対する導入効果

- ① 眠り SCAN を使用された方の夜間における事故件数 (2 年目)
 夜間帯居室内での転倒・転落による骨折に至った事故件数は、平成 24 年～平成 29 年 6 月まで年間平均 3.4 回であったが、眠り SCAN 導入後は、平成 29 年に 1 回のみである。転倒・転落のリスクが高い方に眠り SCAN を使用したことにより減少に繋がっている (2 年目)
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
 ベッドに設置するサイドコールから眠り SCAN に変更したことにより体動等でのナースコールが減少し 1 日平均 16.5 回 (定期巡回 5 回を含む) 訪室していた方が、平均 6.6 回へ減少している。
- ③ 夜勤職員のストレス及び業務量軽減 (2 年目)
 導入以前 (平成 26 年～平成 29 年) 介護職員の退職者は平均 4.25 人であり、退職理由の約半数が労務環境によるものであった。導入後の平成 30 年度は、退職者 2 名でありいずれも引越等が理由であった。センサーマット等での訪室等により利用者様の睡眠の妨げ等が減少したことにより身体的負担や事故による精神的負担の軽減に繋がったことが退職者の減少に繋がっていると考えられる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ライフサービス)
 事業所名 ((株)ライフサービスひだまり)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウント株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 29 年 8 月 1 日	1 台	平成 29 年 8 月 1 日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊サービス利用者を中心に日中ベッドで休憩される方にも利用し、睡眠状況の確認や覚醒状態時の声掛けなど介護のタイミングなどに利用している。 ・ 宿泊については月間 5 ～ 6 日程度、日中休憩については 1 3 日程度の頻度で利用している。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間については利用者の見守りに対して、リアルタイムで睡眠状況（睡眠状況・呼吸数）を把握することでスタッフの心理的な負担が軽減されている。 ・ 夜間の睡眠状況（熟睡、寝不足等）を把握することで翌日日中のケアへの配慮に繋がっている。 ・ 家族への情報提供にも役立っている。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)
 事業所名 (特別養護老人ホームデイパーク大府)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステム M1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年10月18日	8台	H29年10月18日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>昼夜逆転傾向がある方、ベットからの転落や転倒の危険性の高い方、ナースコールを鳴らすことが出来ない方等について、継続して利用している。</p> <p>対象者の方の状態に合わせ、ナースコールに連動してコールするタイミングを考慮して使用している。当該機器からのコールにより、活動時間や体動などを把握し、24Hシートなどに反映し、また状況変化に対しても、コールタイミングを変えるなどして、対応している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>生活リズムの把握につながり、訪室のタイミングなどが把握でき、どの時間帯がいいかなど、24Hシートにより正確な情報を反映することができ、ベットからの転倒事故など大幅に減少している。また職員の不要な訪室が減少し、睡眠の質も向上し、日中の活動などにも良い影響がでており、職員もご利用者の方の生活の質の向上に対して以前より検討する機会が多くなってきている。職員も転倒事故の発生の減少と夜間における訪室回数の減少により、精神的身体的負担軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (特別養護老人ホーム豊田福寿園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りロボット		aams/アアムス		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
29年 8月 28日	1台	29年	8月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りロボットを継続使用していることで、主に認知症疾患のある方の行動に対して迅速に対応できるようになり、転倒・転落のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても、呼吸状態の把握が巡視での確認とともに行え、精神的・身体的負担の軽減が図れ、日中、夜間を通し円滑な見守りができるようになってきています。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)

事業所名 (豊田福寿園ショートステイセンター)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りロボット		aams/アアムス		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
29年 8月 28日	1台	29年 8月 31日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（離床等）をアラートで知らせてくれ、また、モニターでの確認ができ、その都度職員が対応しています。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>見守りロボットを継続使用していることで、主に認知症疾患のある方の行動に対して迅速に対応できるようになり、転倒・転落のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても、呼吸状態の把握が巡視での確認とともに行え、精神的・身体的負担の軽減が図れ、日中、夜間を通し円滑な見守りができるようになってきています。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)

事業所名 (ショートステイ川名山荘)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		パラマウント株式会社 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 7 月 28 日	1 台	平成 29 年 7 月 28 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・当該導入機を含め、施設（特別養護老人ホーム・ショートステイサービス）内の眠りスキャン整備台数が 14 台となり、各ユニットに 1 台以上を配置している。

<活用方法>

- ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。
- ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。
- ・睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。
- ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。
- ・看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。
- ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。

【介護ロボットの導入効果】

- ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。
- ・利用者様の安眠が保てるようになった。
- ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。
- ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。
- ・呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。
- ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。
- ・転倒の回数が減少した。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)

事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 7月 28日	8台	29年 7月 28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以前購入した同機器とともに、各ブロックに5台ずつ配置して、各ユニットの記録ツールである i p a d や各ブロックのステーションにあるパソコンで本器を使用している対象者の状況や睡眠と覚醒のデータ等が確認できるようになっている。

夜間不眠の傾向が顕著な方等の睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に主に使用している。

また、看取り期に入られている入居者に対しても、ご家族に適正な情報提供を行う観点から適宜活用している。

【介護ロボットの導入効果】

W i f i を通じて対象者の睡眠と覚醒のリズムの状況が、i p a d やパソコン内にデータとして保存される。そのデータは対象者の状況を一日単位ではなく、1週間、1カ月単位で比較ができるため、対象者の習慣的な生活リズムの把握に役立っている。その把握したデータは、適切なケアの展開につなげやすいため、対象者の昼夜逆転のリズムの解消への働きかけや夜間不眠後の歩行不安定な対象者に対するリスクマネジメントなど、導入前よりも本器で取得したデータという明確な根拠に基づいた適切なケアにつなげることができている。

また、看取り期の入居者に対する活用では、本器で心拍数や呼吸数を把握できる機能などを存分に活用し、看取り期のカンファレンス等で、ご家族に対して、適切かつ詳細な対象者情報の提供が可能となっている。対象者が現在どのような状態にあるかをタイムリー、かつ的確に把握できるため、ご家族や職員が、今後どのように対応していけば良いのかを、的確に認識ができることにつながっている。

看取り期の方の状況をデータでしっかりと把握することは、まだ大丈夫という状況の職員の精神的な安心感や、いよいよ対象者が看取りの最終段階にいる場合の夜勤に入る際の心の持ち方にもある程度の影響があるようにも思える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人カリヨン福祉会 ）

事業所名（特別養護老人ホームカリヨンの郷）

サービス種別（介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守りベッド		見守りケアシステムM2 ベッドに内臓されたセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを判断し、見守りが必要な利用者の動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する。		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 29 年 9 月 25 日	6 台	平成 29 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善（誤報の有無）夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、具体的に記入できるチェック表にし、毎日行っている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>ベッドからどの位置で利用者が転倒への危険性が高くなるかを観察した時、単独のセンサーでは誤報や電源の入れ忘れ、利用者が床センサーを跨いでしまっただけでコール反応が起きないなどの現象があった。このことから、介護側のストレスも大きくなっていった。今回導入した見守りベッドは、ベッド上で利用者の動きに合わせて自動感知し、また、見守りを同時に行ってくれる事で、職員の気持ちにも余裕が持てるようになった。特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も減少し、誤報も報告されていない。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらにハード面を強化する事で、有用なロボット型ベッドとして活用することが可能である。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (リハビリ・ショートねもころ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成 30 年 1 月 25 日	1 台	平成 30 年 1 月 23 日	年 月 日から 年 月 日まで	
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○利用者の宿泊施設利用時に使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入眠状況の把握で使用した。 ・夜間入眠状況をご家族や担当のケアマネージャーへ報告。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○スタッフ間で利用者の夜間の就寝状況の情報共有に活用できた。</p> <p>○スタッフの夜間の巡視時間の目安になるなど、負担軽減につながった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 1 月 25 日	1 台	平成 30 年 1 月 23 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○施設を初めて利用される方に使用 利用者の家族に夜間の入眠状況を伝えた。</p> <p>○登録利用者の宿泊中に使用 入眠状況の把握で活用した。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○夜間の就寝状況を、日勤の担当者等への申し送りに活用できた。</p> <p>○職員の巡視時間の目安となるなど、負担軽減につながってきている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人共和会)
 事業所名 (共和病院)
 サービス種別 (医療療養病床)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 9月29日	2台	29年 9月29日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該機器を使用し、ベッドからの転落や転倒の防止を強化している。 ・高齢で医療依存度の高い入居者の状態観察を行っている。 ・終末期の利用者に使用し、覚醒状況、心拍数、呼吸数などを頻回な訪室をせずにモニタリングでき、安静とスタッフの負担を軽減している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>終末期の利用者に使用しているが、覚醒状態、心拍数、呼吸数がモニタリングでき、状況把握がしやすい。また状態のアセスメントするための材料になる。また常にモニタリングされているので状態が把握でき、スタッフの安心につながっている。</p> <p>転倒しやすい利用者に対しては、離床しているか、覚醒しているかが把握できるので、転倒、転落の予防につながっている。また覚醒状況が把握できることで、頻回の訪室による利用者への不安、不快感が軽減できている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
H29年9月26日	10台	H29年9月26日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマットしたに敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、終末期ケアの入居者の場合は終日、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能になってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直されたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。終末期ケア時の変化しやすい入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほ特定施設事業所)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年9月22日	1台	29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の主に夜間帯、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームウエルコートみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
29年9月22日	8台	29年9月22日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、終末期ケアの入居者の場合は終日、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。終末期ケア時の変化しやすい入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年9月22日	1台	29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の主に夜間帯、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 清水会)
 事業所名 (まこと老人保健施設)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠り SCAN (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 8 月 10 日	2 台	平成 29 年 8 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以下のような入所者を対象とし、ベッドに設置し入眠状況の把握を行っている

- ・ 睡眠状態（時間や深さ）が不安定でその傾向を把握したい
- ・ 夜間や早朝の覚醒がある、転倒や転倒のリスクが高い入所者が覚醒したことを把握したい
- ・ バイタルサインの変化の早期発見が特に必要である（ターミナルケアなど）

ユニットリーダーからの希望をもとに、優先順位や期間を検討し、介護役職者が使用を許可する

【介護ロボットの導入効果】

入所者のアセスメントを行う上で重要な情報となっている

- ・ 明確なデータがある為、医療職との連携がしやすく投薬内容や投薬時間の検討に役立っている
夜間に転落のあった入所者に導入したところ、横になって目も閉じているものの、測定データ上は覚醒状態である時間が多いことがわかったため、睡眠薬再開の検討に役に立った。
- ・ ケアプランを作成する際、臥床と離床時間のバランスやタイミング、転倒、転落などの事故防止対策などの立案がしやすくなった（ケアの個別性、質の向上に繋がる）

ターミナルケアを行う際の職員の負担軽減に繋がっている

- ・ 夜間帯の職員配置が少ない時にも入所者の変化に早く気付くことができている
- ・ 生体情報モニタを使用した姿と比べると見た目の印象が軽くなる

※ 生体情報モニタの代用（医療機器としての使用）にはならないことは留意して使用する

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)
 事業所名 (老人保健施設ひまわり)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 9 月 25 日	4	平成 30 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している（平成29年度購入分をあわせると4ユニットに各2台ずつ配置）</p> <p>①看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握 ②夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握 ③夜間の排泄パターンの把握 ④夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止</p> <p>主に上記4つの目的で活用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>①看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。 ②眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。 ③離床検知システムを活用することで、排泄パターンが把握でき、排泄支援の評価に役立った。 ④ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (東海エイド株式会社)

事業所名 (グループホームなごみや)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 12 月 7 日	2 セット	平成 29 年 12 月 7 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成 29 年 12 月 7 日にメーカー担当者より現場スタッフへの取扱説明を受け、導入を開始。入居者の睡眠リズムの把握に繋げるため、当該機器の効果や必要性(睡眠状態の把握、眠剤の薬効の把握、転倒転落のリスク回避など)を考慮し、ご家族への説明の後、了承を頂いた方に使用している。

〈ある入居者について〉

夜間の巡回により睡眠は確認出来ているが、日中も傾眠傾向の入居者に眠りスキャンを導入行い検証する。

【介護ロボットの導入効果】

①夜間睡眠中に入居者の脈拍が多い状態が続いていることを把握出来た。

→不調の原因の考察ができた。ペースメーカーを使用しており、業者を呼び確認するが異常なし。その後も傾眠が続く為、眠りスキャンを導入。結果、脈拍異常を発見。早期受診に繋げることが出来、かかりつけ医へデータで情報提供することが出来た。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハラー)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 12 月 6 日	3 台	平成 29 年 12 月 6 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

・センサーベッド導入以前はセンサーマットで対応していたが、センサーベッドを導入した事でその方の状態に合わせてセンサーマット、センサーベッドを使い分け、事故防止に努めている。

1. センサーベッド使用者の選定。
(ベッドからの転落、転倒リスクが高い方を対象に使用。)
2. センサーベッド使用者の導入後の評価と会議を実施。
3. 転倒、転落リスクが高い方を再検証し、必要であればベッド変更を実施。

【介護ロボットの導入効果】

・ベッドからの転倒、転落リスクが高い方にセンサーベッドを導入しているが、導入前後を比較するとベッドからの転倒、転落事故が減少している。

・各入所者の動きに合わせて通知モードを設定(動き出し、起き上がり、端座位等)している為、状況把握がしやすく早めの対応が出来、事故防止に繋がっている。

・通知モードを設定出来る為、職員が日頃から入所者の動きを意識するようになった。

・ヒヤリハットや事故報告書等の分析を定期的に行い、センサーベッド使用者の見直しを行うようになった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)

事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		カリストエール (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2017年11月27日	7	2017年11月27日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>ベッドからの転落の危険がある利用者様に、センサーベッドとして使用した。 ベッドで端座位になった時に反応するように設定している。 ナースコールを押されない方なので、センサー反応により職員が訪室し、トイレ介助等している。 また、立位や歩行が安定せず転倒の恐れがある利用者様に使用した。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>利用者様の動向に合わせて設定ができるため、ベッドからの転落事故が減少した。 センサー反応により職員が訪室できるため、自分でコールを押さない方の要求に対応することが出来ている。 センサー反応により、利用者様のベッドからの立ち上がり、歩行に職員が付き添うことができる。 見守りが必要な方の場合、他の利用者様の介助に入っていた際や、いつ動かれるか分からない方の動向を知ることができ、職員の心理的な不安を軽減させる効果があったといえる。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。